

読書会「齋藤甲馬と宮代」 第3弾 ～「農のあるまちづくり」編～



宮代町の初代町長・齋藤甲馬。約30年にわたり町政を担い、「教育を重んじるまちづくり」や、宮代らしさを大切にしたい町政を実践し、現在の宮代町の礎を築きました。齋藤甲馬が大切にしたいまちづくりの考え方は、その後の宮代町にどのように受け継がれていったのでしょうか。

今回の読書会では、『齋藤甲馬と宮代』をみんなで読みながら、その思想が「農のあるまちづくり」や「新しい村」へとつながる歩みをたどります。後半は、宮代町職員として齋藤甲馬とともに働き、その後「新しい村」の監査役、代表取締役社長を務めた島村孝一さんをゲストにお迎えします。ともに働く中で何を学び、その学びは現在の地域づくりや福祉にどう受け継がれているのか。当時を知る島村さんならではの話を伺います。読書会の後は、希望者で島村さんの手打ちそばを囲みながら、交流する時間も予定しています。

参加費

500円

おそばを食べる人は+500円

持ち物

お持ちの方は『齋藤甲馬と宮代』

定員

30名

日時

2026年9月6日（日）17時～19時（交流会19時～）

場所

進修館・2階ロビー
（宮代町笠原1-1-1）

申し込み

右のQRコードからお願いします（定員25名）

主催

長谷川知広・深谷由梨香・川中子まい（宮代町在住）
勝木祐仁（日本工業大学建築学部建築学科教授）

お問い合わせ先：tomohirohasegawa83@gmail.com

